



何を検討すべきか  
(検討テーマ)

どのように規定するか  
(検討テーマに対する個別の提案、目的・  
考え方や具体的な規定設定の方向性等)

◇市民の権利と義務

B) 市民の権利とは何か

権利

B) 自分たちの意思  
を表明し実現する  
仕組みの保障

A) 市民の権利と義務  
の明確化

義務

・市民一人ひとりが行動しなければ何も変わらないことを啓発すべき

これが問題

A) 自治体とは、市民による市民のための市民の政治だと思ふ。しかし、エゴの反省も常に持つべき

C) 市民自治と責任のとり方  
・自分勝手は自治ではない

・市民の権利規定と義務規定は表裏一体のものとして定めるべき(義務を果たさなければ権利を行使できない)

こうしよう!

B) 市民の義務も書くこと  
A) 市民は責任を持つこと

B) 自分の住むまちのことは自分たちが責任をもって解決する

C) 市民としての自覚、義務、責任がもてるものに  
※条例を守り、持続性のあるものにする

C) 「市民が義務を果たすことで、権利が生じる」この考えに基づく市民の定義を規定する

市民参加  
市民参画  
協働

◇自治体と市民の契約関係

A) 市民の「参画」と「協働」については、その仕組み・方法を具体的に規定する

A) 市民参加の道づくり

A) 市民の意思が表明できる制度づくり

◇市民と市民の契約関係

新しい公共

・新たな公共領域とその担い手も

◇市民ってなに？  
(市民の定義)

定義の視点

・基本的人権の視点で考える

B) (外国人、子ども、高齢者、障害者等すべての市民が) 平等

B) 市民の規定も当事者の能力の有無によって変わる

C) 「自治」の主体は「属地主義」

○市民と住民

・住民と市民の違い

・通勤者、昼間人口をどのように扱うか

C) 法=市民と、行政=住民の違い

C) 市民=納税者ではなく、子ども、弱者も含まれる

B) 市民にはいろいろな側面(タイプ)がある

C) 通りすがりは義務をおかない

住民とは・・・?

・3ヶ月以上居住者(ホームレスも含む)

C) 住民だけではできることが限られる

C) 法人も住民としての義務

B) 住民の年齢による資格、区分

市民とは・・・?

C) 個人企業

B) 既存条例ではどう区別されているかを確認し、規定する内容によって使い分ける

・学び、住み、働く者すべて

C) 条例の利益を受ける人=市民

C) 自治意識を持った住民

B) 市民とは、自ら考えて行動する人、自立した人

・納税者?

C) 義務をはたしている人(ex納税者)

C) 義務をおう人

C) まちづくりの主体

C) パブリックサービスの対象は中産階級以上